



青梅市立第一中学校

令和8年度 第3回学校運営協議会 議事要旨

【開催日時】：令和8年10月2日（金） 14:30～16:00

【会場】：第一中学校

【参加者】：校長、副校長、スポーツ推進委員、第一支会長、はらからの会会長
青少年健全育成委員会青梅地区委員長、地域コーディネーター、主任児童委員
民生児童委員、分掌主任（教務・生活指導）

1 会議概要

司会：副校長

第1部：校長挨拶、学校運営に関する中間報告、各部（教務部・生活指導部）報告

第2部：合唱祭練習の参観（1年C組・3年A組）

第3部：生活アンケートの結果報告、各種協議、質疑応答

2 第1部 学校運営に関する中間報告

（1）校長挨拶

○上半期の振り返り：大きな事故もなく落ち着いた状態で教育活動を実施できている。体育大会などの行事も無事に終了した。

○修学旅行：大きな事故もなく無事に終了した。60年以上にわたりお世話になった「金波楼」での宿泊事業が一区切りとなり、宿の方々にこれまでの感謝を伝えた。

○現在の状況と今後：中間テストが終了し、本日より合唱祭の練習を開始した。今後は委員会活動の後期引き継ぎ（3年生から2年生中心へ）が進む予定である。

（2）学校運営に関する中間報告および学校評価の流れ

学校評価を以下の4つの柱で実施する。（再掲）

①学力の向上

②社会性の育成

③豊かな心の育成

④教育活動を支える重点（一中校区とのつながり堅持、教員の働き方改革）

評価の実施状況について

○生徒対象：1学期末に①授業評価、②生活アンケートを実施した。①の結果は教員個人へフィードバックし、授業改善に活用している。②の結果の一部は9月学校だよりに掲載し、保護者・地域の皆様に公開した。本会でもその要点について触れる。

○教員対象：各部（教務・生徒支援・進路研修等）でおおよそ週1回の会議を担保できるよう、教務

主任が計画を立てている。さらに各部では、行事ごとに教員向けアンケートを行い、職員会議等でフィードバックを実施している。

○**今後の流れ**：11月に保護者・生徒対象の第2回アンケートを実施し、1月までに内部評価として取りまとめ、本協議会でもお諮りする。

（３） 各担当からの分掌遂行状況報告

①教務部（報告：矢内 教務主任）

○教育課程・時間割：

授業時数の確保及び偏り（祝日・振替休業等）の調整を徹底し、円滑に進行している。

○小中一貫教育：

教員間の感染症発生等の影響により、第2回小中一貫（第一小・第四小、第一中の連携）の会は中止。3学期の第3回に向けて連携を深める。

○**働き方改革**：長期休業中の会議の設定を精査するなどし、負担軽減を図っている。

②生徒支援部・生活指導（報告：荒川 主幹教諭）

○**学校生活の現状**：全体的に非常に落ち着いた状態。行事等でも高い団結力を発揮している。

○重点取り組みと成果：

ア 基本的生活習慣：本年度から登校・着席時間（遅刻の判断基準時間等）を8:20に入室・着席と設定した。朝の読書スタートもおおむね定着したと言える。毎週金曜には清掃の時間を「無言清掃」とし、継続して実施している。

イ いじめ早期発見・対応：人間関係の把握のため4月下旬に1年生対象アンケートを実施し、未然防止・初期対応を強化した。日々の「デイリーライフ（1～2行日記）」を通して、個別状況の把握に努めている。

ウ 振る舞い・意識向上：ボランティア活動、3ない運動（もったいない・みっともない・申し訳ない）、挨拶運動を展開している。

エ 課題：集団生活に馴染みにくい生徒や逸脱しての行動をとってしまう生徒がいた場合には継続的な指導と全教職員での情報共有を心掛けている。

3 第2部 合唱練習（第1回目）参観

○**格技室**：第1学年C組の練習を参観した。初回の練習ながらも、パートごとに実行委員が中心となり、それぞれのCDプレーヤーから聞こえる音源を頼りに練習に励む姿が見られた。

○**体育館**：第3学年A組の練習を参観。パート練習及び、その後の全体での合唱を参観した。初回の練習のため、楽譜を見ながら言葉の一つ一つの意味を捉え、情景を思い浮かべるなど、言葉を大切に歌う姿が見られた。

4 第3部 生徒アンケート分析と本校の課題（9月学校だよりに掲載）

（1） 学習・主体的学び・家庭学習

○朝読書：約9割が肯定的な回答をしている。図書委員会の企画等も高い水準を維持で来ている要因と考える。

○表現力：総合的な学習の時間等で「ノー原稿」での発表が定着している。

○主体的な学び：「授業で自分の考えを深めている」生徒は74%（昨年度より増加）であった。対話的・協働的な学びを教科等で導入している。

○【課題】家庭学習について：昨年度より肯定的な意見は多くなっているものの、約3分の1の生徒が意欲的に取り組めていない。学習者用端末（アプリ）の活用や自分に合った「学習方略」が選択できるようになることを通して、基礎学力の定着を図る。

（2） 学校生活・いじめ対策・相談体制

○学校生活の満足度：約8割が肯定的な回答をしている一方、約15%（クラスに6～7人程度）は「楽しくない・わからない」と感じている（そのうち約7%は「全く楽しくない」と回答していることにも着目する必要がある）。

○【課題】相談体制：「悩みや困り事を相談できる教員がいない」と答えた生徒が14%（約30名）いる。相談できる教員がいないことに対する対策のほか、相談するスキルが身に付いていない可能性も考え、取り組みを実施している。相談するスキルを身に付ける指導としては、「いつでも誰にでも相談できる週間」において、教員が寸劇を交え、具体的な相談の仕方（言葉の表出）に関する指導を行った。

（3） 社会性・振る舞い・地域連携

○3ない運動（もったいない・みっともない・申し訳ない）：第2・3学年の意識が高まっている。昨年の第1・2学年のときと比較し、肯定的な回答が8%増加した。

○【課題】ボランティア活動：積極的な参加者をしている旨の肯定意見は34%にとどまっている。地域自治会（資源回収等）と連携したボランティアへの参加の呼びかけを開始したので、今後も自発的な貢献心の醸成を図っていく。

（4） 情報モラル・デジタル機器

個人用携帯電話・スマートフォン等の所持率：生徒の所持率が100%となった。

○【課題】SNSトラブル防止：日常生活でのSNSトラブル発生可能性を踏まえ、自律的な利用と自己防衛能力の育成に向けた指導を継続して行う必要がある。

5 協議（質疑・応答）

（１）生徒アンケート結果報告についての質疑・応答

Q: 生徒に自主性を持たせる指導（段取りや考え方の育成）には時間がかかると思われるが、決められた教育課程・スケジュールリングと両立して円滑に回せている理由は何か。

A: 全ての授業で生徒主導を行っているわけではなく、全体の１０～３０％程度でポイントを絞って導入している（全授業で実施すると進度が遅れて教育課程が終わらなくなる懸念があることも事実）。

青梅市の教育研究指定校として「主体的に取り組ませる授業づくり」をテーマに研究を進めており、時間配分を見極めながら計画的に実施している。

（２）制服検討委員会について

見直してほしいという意見が圧倒的に多く変更を検討してきた。生地との準備の関係で、第１期、第２期に分けて考えている。

（３）８０周年記念式典について

今後実行委員を立ち上げ、計画を具体にしていく。

（４）マスゲームについて

学習指導要領に則り、体育大会自体を含め時代に合ったものにしていくことを前提に、次年度の計画を行う。

（５）第４回の開催について

令和８年１２月４日（金）から開催日を変更予定（※１１月２８日（土）に決定）

※要旨取りまとめの都合により、実際の進行とは順番を入れ替えたり、補足を追記したり、内容を大きく割愛している箇所 があります。